

第7回食料無料支援に91名来場

～ 感染対策に十分気を付け開催 ～



3月19日（土）福井県社会福祉センターにて、7回目となる食料無料支援を開催。これまでは、会場内、廊下が密になりがちでしたが、今回は1日数百名という新型コロナ陽性者の拡大を受け、体育館でお渡し机を10ヶ所用意し、袋に詰めた食料・日用品のセットのお渡しのみとしました。要員制限もしましたが、みなさん支援の思いは強く、役員8名、組合員ボランティア7名、職員3名と初参加の職員親子2名の総勢20名となりました。

検温が済んだ方からそれぞれお渡し机に。受付とアンケートの記入後セット袋をお渡しし、帰りに出来立てパンをもらって終了。滞留時間が短く、感染リスクはグンと低くなりました。一方、これまで並べて選んでいた野菜、日用品や衣類をやめたため、「これだけしかもらえないの」と不満の声も。感染対策を強めたことを説明しご理解いただきました。

図1、コロナで影響を受けたことは？
(複数回答可)

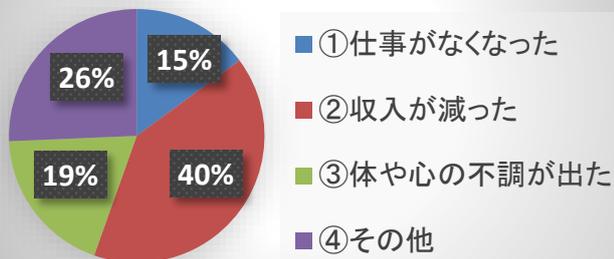
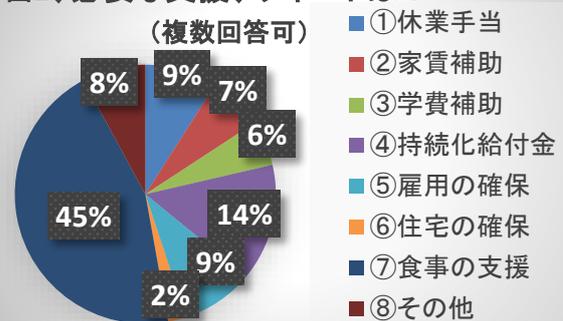


図2、必要な支援、サポートは？
(複数回答可)



来場者は91名でアンケートの回収は85名。その結果、性別は男性1/3、女性2/3、年齢層は幅広かったものの60代以上が約6割、そのため年金生活者が約6割でした。図1の通り、コロナの影響としては収入減が4割、図2の通り、必要な支援としては食事の支援が約5割で、収入が減り、食料支援が特に強く求められていることを改めて実感しました。

